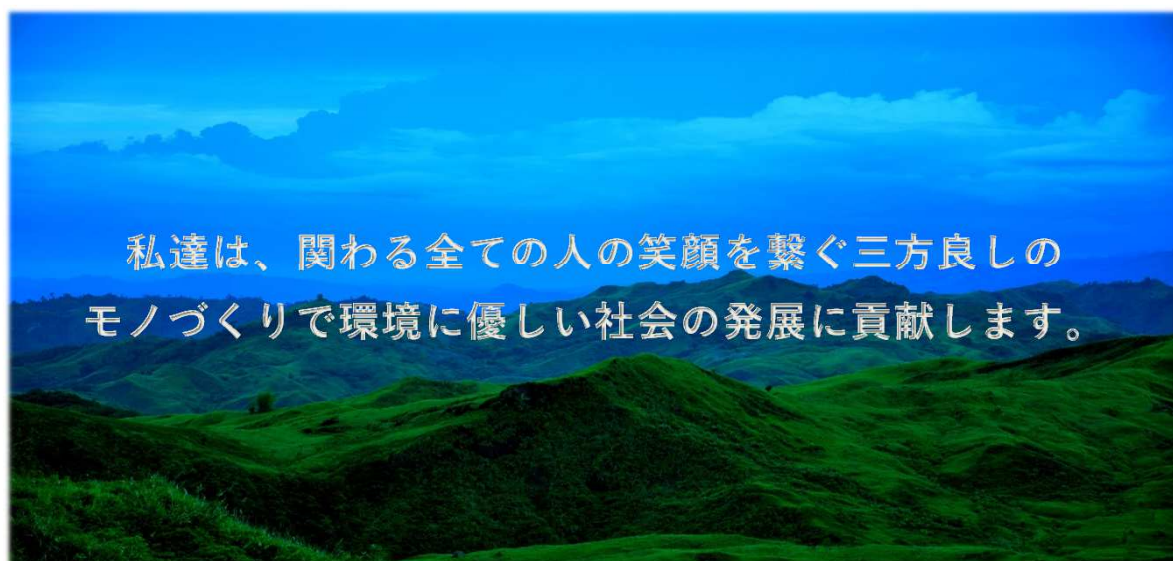


環境経営活動レポート

対象期間：2020年 4月 ～ 2021年 3月



発行：2021年 4月 8日

目次

1.環境方針	3
2.オーミヤ環境SDGs「Besic Stance」	4
3.会社概要	5
4.環境経営体制	6
5.環境目標	7
6.環境活動計画	7
7.環境活動結果及び評価	
1) 活動内容と取り組み評価	8~9
2) 実施状況	10~14
7.環境関連法規への違反・訴訟等の有無	15
8.経営者の環境活動に対する評価と見直しの結果	16





ご挨拶

株式会社オーミヤは、1958年の創業以来、人のライフラインと言われる水に纏わる製品開発・製造をおこなってまいりました。

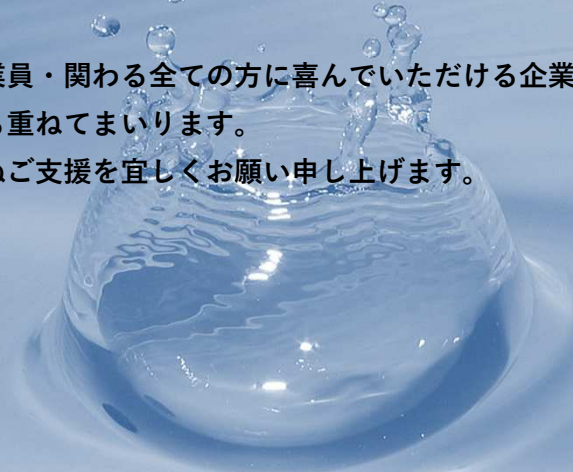
現在も「水」という基礎は変わりませんが、地球温暖化・高齢化社会・インバウンド需要の増加など、今まさに変化している社会に対して、必要とされる新しい価値の商品開発・製造をしています。

社会がどれほど変化しても、人が生きていく限り「水」は必要です。

人が生活するうえで欠かせない「水」を扱うメーカーとして、品質管理を第一に、今後も時代の変化を感じ、時代が求める「在って良かった」と言われるモノづくりを行っていきます。

お客様・仕入先様・従業員・関わる全ての方に喜んでいただける企業創りを行う為にたゆみない努力を今後も重ねてまいります。

どうぞ今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。



株式会社 オーミヤ
代表取締役 道野 弘樹

1.環境方針

環境方針

地球に優しい、100年先の未来にも誇れるものづくり、ひとづくりを行う。

- 1.環境のことを最優先に考えられる人づくりの為、社員教育を実施する。
- 2.資源の循環を理解し、リサイクルを徹底する。
- 3.地球環境に優しいものづくりの為、不良を削減する。
- 4.不要なエネルギーを削減する為、日々継続的に環境システムを改善する。

制定：2019年4月1日
株式会社 オーミヤ
代表取締役 道野 弘樹

更新内容	更新年月日	担当
4.「不要なゴミ」⇒「不要なエネルギー」へ変更	2021.4.1	三澄

2.オーミヤ環境経営SDGs 「Basic stance」

❖機会「Chance！！」



基本プロセス				
プロセス1	プロセス2	プロセス3	プロセス4	プロセス5
サプライヤー	原材料入荷	製造	販売	製品廃棄
	製品・部品購買	販売	—	



❖リスク回避「Risk aversion」

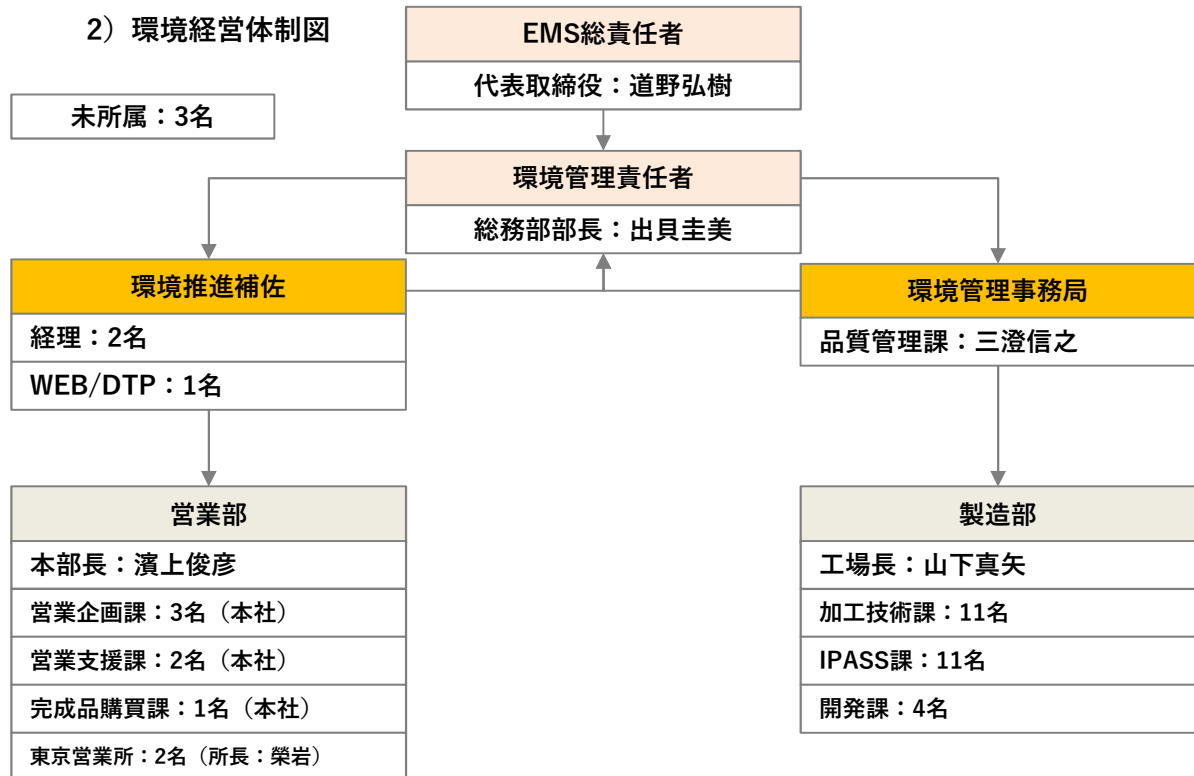


3.会社概要

事業所名	株式会社 オーミヤ	
代表者	代表取締役	道野 弘樹
事業所	本社	大阪府 東大阪市 水走 3-5-10
	東京営業所	東京都 豊島区 池袋本町 4-29-5
連絡先	本社	TEL:072-962-3661
		FAX:072-964-0227
	東京営業所	TEL:03-6907-2010
		FAX:03-6907-2011
アクセス	〔電車の場合〕 本社・工場 近鉄けいはんな線（地下鉄中央線直通）吉田駅徒歩約7分 東京営業所 東武東上線 下板橋駅徒歩約5分、北池袋駅徒歩約7分 JR埼京線 板橋駅徒歩約7分 〔車の場合〕 本社・工場 阪神高速13号東大阪線 中野出口約5分 東京営業所 首都高速5号池袋線 北池袋出口約8分 	
環境管理責任者	総務部部长 出貝 圭美	
及び連絡先	e-mail	tdegai@ohmiya.co.jp
担当	品質管理課 三澄 信之	
及び連絡先	e-mail	nmisumi@ohmiya.co.jp
ホームページ	http://ohmiya.co.jp	
事業内容	水道配管継手、農業用噴霧ノズルならびに屋外用細霧冷房の製造販売	
企業コンセプト	継手・ノズル・ミストで実現できる人々のより良い暮らしを売るメーカー	
事業規模	資本金：30,000千円（2019年3月増資）	
	従業員：45名（2021年4月現在）	



4.環境経営体制



当社は環境管理責任者・環境推進補佐・環境管理事務局・各部にて構成しフォローするとともに、代表取締役の評価を経て継続的な活動に務めています。

役割	責任と権限
EMS総責任者 代表取締役	* 環境方針の策定と全従業員への通知
	* 環境管理責任者の任命
	* 運用に必要な人材、設備、費用、時間の準備
	* 全体の取り組みの評価と見直し（環境システムのレビュー）
環境管理責任者	* 環境活動の取り組み結果を社長へ報告
	* 一般的な教育の計画と実施
環境推進補佐 環境管理事務局	* 環境活動の取り組み結果や進捗情報をHP上への掲載や社内通達を行う
	* 一般的な教育の計画の立案や環境管理責任者のフォローを行う
	* 環境データの集計と取りまとめ
	* 環境関連の文書作成と記録
	* 外部からの環境に関する苦情や要望の受付と対応
	* 環境活動実績把握
各部門長	* 自部門の環境活動の管理を行う
従業員	* 環境方針の理解と環境に対する取り組みの重要性を認識する
	* 決められた事を守って、積極的に環境活動への参加を行う

5.環境目標

環境方針を踏まえ、下記に5項目の環境目標を設定した。

削減目標は2019年度を基準に毎年1%削減での設定

目標項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年
二酸化炭素排出量削減※1	kg-CO2	—	64,918	64,269	63,626	62,990
総電力量	KWH	—	194,365	192,421	190,497	188,592
二酸化炭素排出量削減※1	kg-CO2	—	21,557	21,341	21,128	20,917
ガソリン消費量削減	ℓ	—	9,292	9,199	9,107	9,016
産業廃棄物排出削減	t	—	9.35	9.26	9.16	9.07
事務資材消費量削減						
リサイクルの有効活用						
製品不良率※2	%	—	20.4	20.2	20.0	19.8
水使用量	ℓ	—	869	860	852	843
グリーン調達	品	—	—	—	—	—
会社周辺の清掃	回	—	2回	2回	2回	2回

※二酸化炭素排出量は、H30年度 電力係数＝0.334kg-CO2/kwhを基に算出

※製品不良率は不良ロット数に対する割合

6.環境活動計画

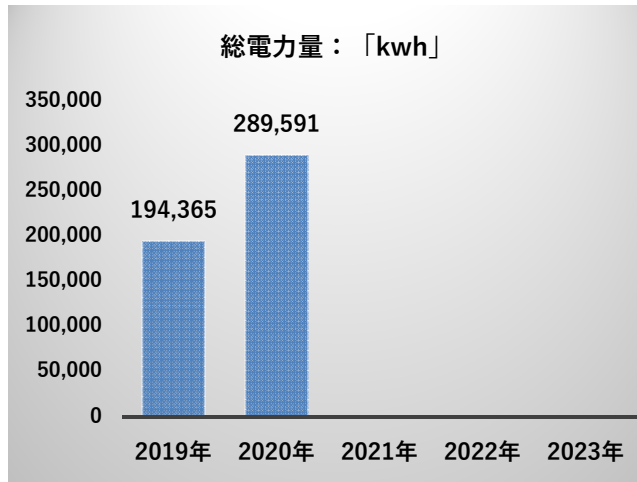
目標項目	活動項目	具体的な主な取り組み内容	担当部署
二酸化炭素排出量削減	電力消費量削減	エアコン設定温度（冷房27℃ 暖房21℃）	総務
		PCや照明機器の不要時の消灯（事務所）	総務
		不要照明の消灯・残業削減（工場）	製造
	ガソリン消費量削減	アイドリングストップ。急発進・急停止の禁止	営業
		納品・配達ルートの検討・営業エリアの再考	営業
産業廃棄物削減	事務資材消費量削減	コピー用紙両面使用・封筒の再利用	総務・事務
	リサイクルの有効活用	運送パレット・ダンボールや新聞紙の再利用	製造
製品不良率	不良率削減	製作刃物の耐久性を検証し、破損予防	製造
		材質特性を把握し製作内容を材質に沿って変更	
水使用量	使用に関する社内啓蒙	手洗い・トイレ使用時の節水	全部署
グリーン調達	グリーン購買推進	事務用品のグリーン購入検討	総務
会社周辺の清掃	5s活動	月一回の5s活動日に実施	全部署

7.環境活動結果及び評価

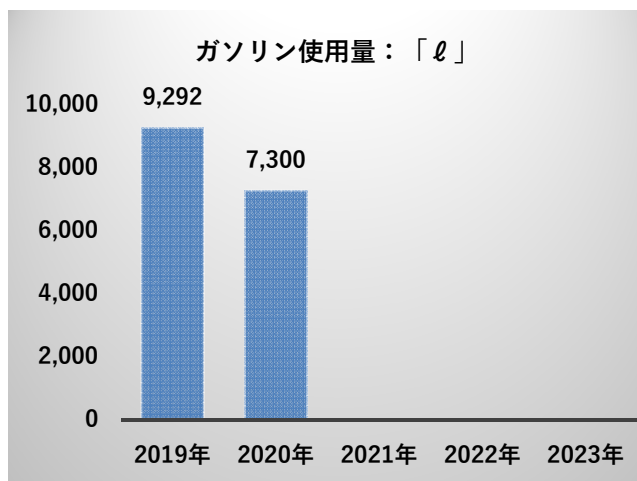
1) 活動内容と評価

電力CO2排出係数：0.334kg-CO2/kwh

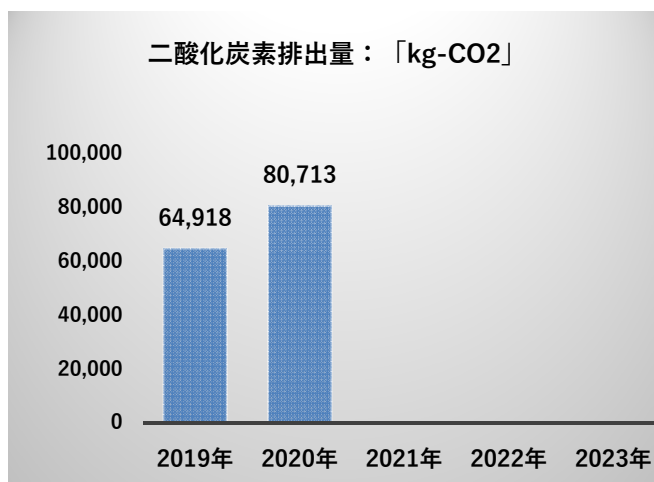
ガソリンCO2排出係数：2.32kg-CO2/kwh



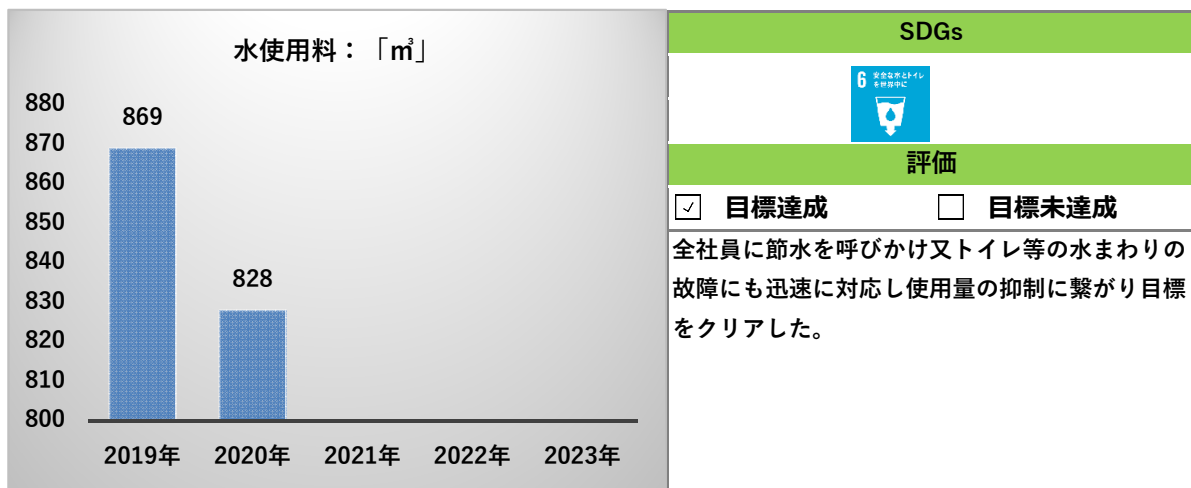
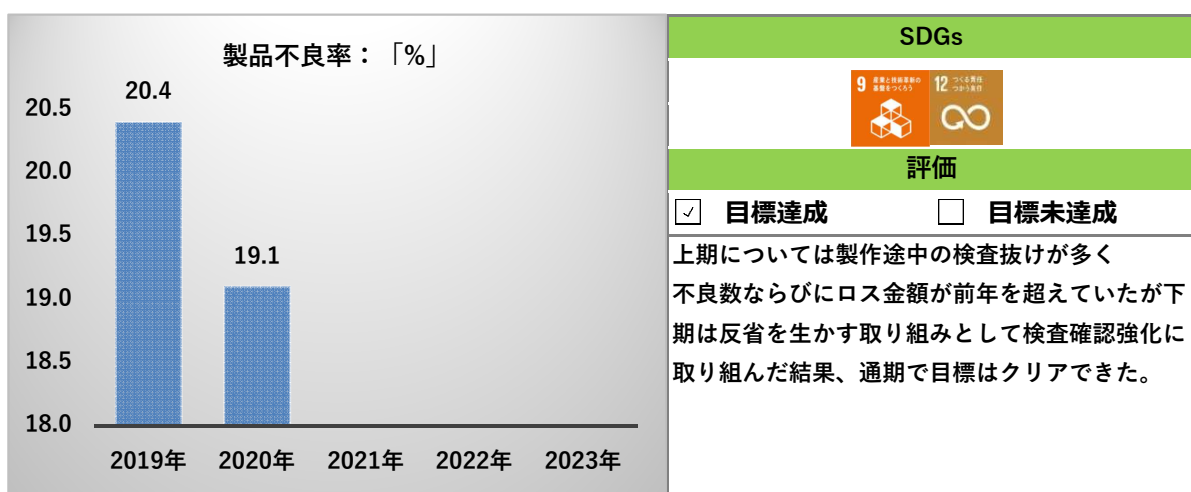
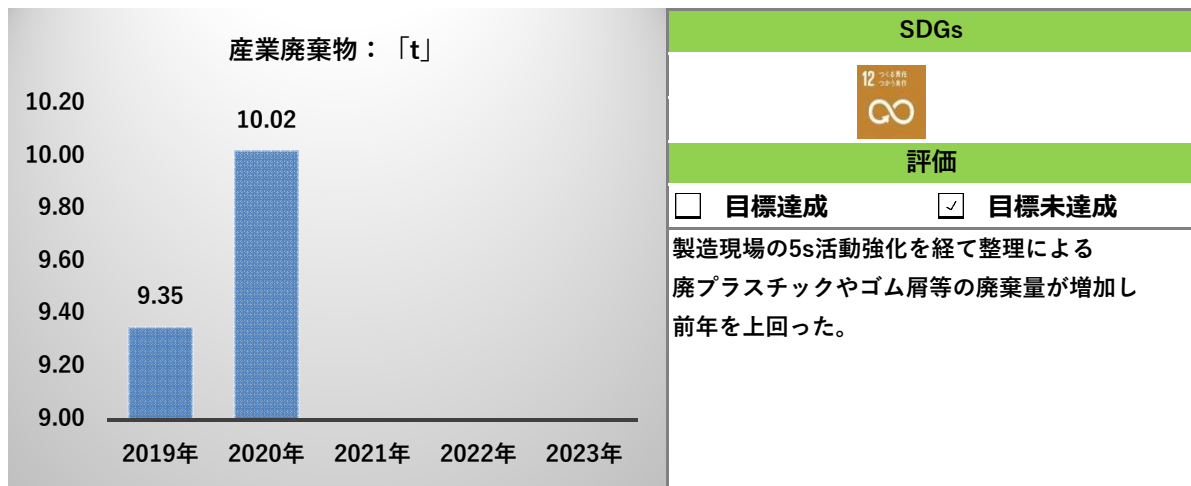
SDGs		
		
評価		
☐ 目標達成	☒ 目標未達成	
本社工場二階へ現場の環境改善を目的にした 空調設備の導入と電力機械導入が加味し 総電力が前年を上回った。 夏季：27165kwh（2019.7～9） 70374kwh（2020.7～9）		



SDGs	
	
評価	
☒ 目標達成	☐ 目標未達成
営業配達ルート改善やITツールを使った顧客サービス導入、又営業の外出制限もあり使用量が前年を下回った。 データー：平均価格129円/年	



SDGs	
	
評価	
☐ 目標達成	☒ 目標未達成
本社工場へ空調設備の設置により電力量が前年を上回り二酸化炭素排出量も増加した。	



2) 環境活動実施状況

- ◆当社では環境に配慮した銅合金「砲金・真鍮（RoHs対応素材）」
を削って製品を作る“ものづくり”を実践しています。



❖材料に含まれる4wt%以下の鉛が規制対象外（RoHs対応）となっています。

項目	砲金RoHs対応材 化学成分：wt（%）						
element 成分	Cu	Sn	Pb	Zn	Fe	Ni	P
Spec	84.5	4.0	0.3	4.0	0.3	1.0	0.5
規格	90.0	6.0	max	8.0	max	max	max
Lot No. 溶解番号	86.52	4.23	0.06	7.64	0.03	0.16	0.08

※鉛（Pb）の含有量max0.3（%）に対し、含有量0.06（%）の砲金材を使用し製作

❖カドミウムを75ppm以下に抑える事でヨーロッパで施行されているRoHs
（電子・電気機器に含まれる特定有害物質の使用制限）に対応しています。

❖国内の主な各メーカーも環境規制値として75ppm以下を推奨されています。

項目	真鍮RoHs対応材 化学成分：wt（%）						ppm
element 成分	Cu	Pb	Fe	Sn	P+Ni	Zn	Cd
Spec	59.0	1.0	0.8	2.3	0.01	残部	75
規格	64.0	4.0	max	max	1.9		max
Lot No. 溶解番号	62	2.54	0.08	0.26	0.17	Rem	18

※Cd（カドミウム）の含有量max75ppmに対し18ppmの真鍮材を使用し製作



◆従業員の資格取得を支援する為、支援制度を取り入れ推進しています。

❖従業員の約1/3が資格支援により資格を取得致しました。



取得資格	等級	取得者数
★ビジネス実務マナー検定	2	
★ビジネス実務マナー検定	3	
★ビジネス文章検定	2	
★秘書検定	2	
★コミュニケーション検定	1 (上級)	 
	3 (初級)	 
★日商簿記検定	2	 
	3	  
★日商PC検定	3	
★日商プログラミング検定	—	
★MOS検定「word」	—	 
★MOS検定「excel」	—	   
★QC検定	3	  
★なにわなんでも検定	—	   
★HSK（中国語）口頭試験	中級	
★日本語能力試験	N4	
★Eco検定		
		
★玉掛け	—	
★クレーン（5t）	—	

◆エアコン稼働時間の設定「AM8:20~PM18:00」

◆設定温度の変更「夏：27℃ 冬：21℃」

❖エアコン稼働時間を新たに設け、働き方改革推進と節電対策に努めています。



◆ケア・インターナショナルジャパンへの「あつめて国際協力」への協力

❖使用済み切手を集め、寄付致しました



途上国での女性と女子の自立支援を
応援する為、使用済み切手を収集し
寄付する取り組みを行っています

◆使い捨てカイロの収集に協力



資源の有効活用 水質・水環境の改善 地球環境の保全



使用済みの使い捨てカイロで世界の水
を綺麗にするプロジェクトに賛同し収
集を行い寄付いたしました

◆夏季の従業員の健康（熱中症対策）の為、工場二階へ空調設備を新たに導入

❖空調設備導入によって夏季の工場二階温度が例年35℃→30℃へ減少し現場改善が推進



◆社外清掃の実施

❖当社で、本社工場周辺の清掃を定期的に行っている様子。



◆職場の5S活動

❖働く皆が気持ちよく働ける職場である為に、5s活動を日々継続しています。



改善前と改善後で実績を評価し、最優秀に選ばれた
実績者には、全社で表彰と金一封を授与しています。

◆eco検定取得「環境社会検定試験」の推進

- ❖社員の環境意識向上の為、eco検定の受験を推奨。
- ❖環境の意識レベルを共有し、高めることで環境への対応力向上を目指します。
- ❖検定試験で14名が合格し正社員の約半数が「ecoピープル」になりました。



環境社会検定試験® (eco検定)合格証

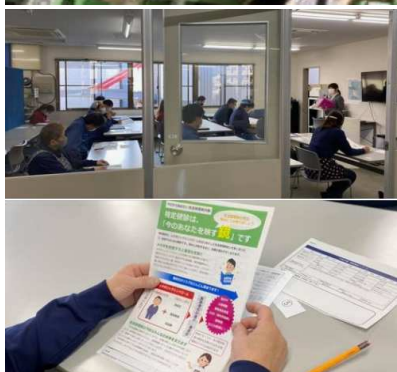
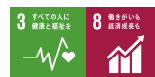
氏 名 [黒塗り]
生年月日 [黒塗り] 年 [黒塗り] 月 [黒塗り] 日
試験回次 第27回(2019年12月15日)
証書番号 27-1-09979
施行(試験地) 東大阪商工会議所



東京商工会議所
施行商工会議所

◆健康経営宣言

❖従業員が健康で働ける職場であり続ける為、職場の健康作りを導入



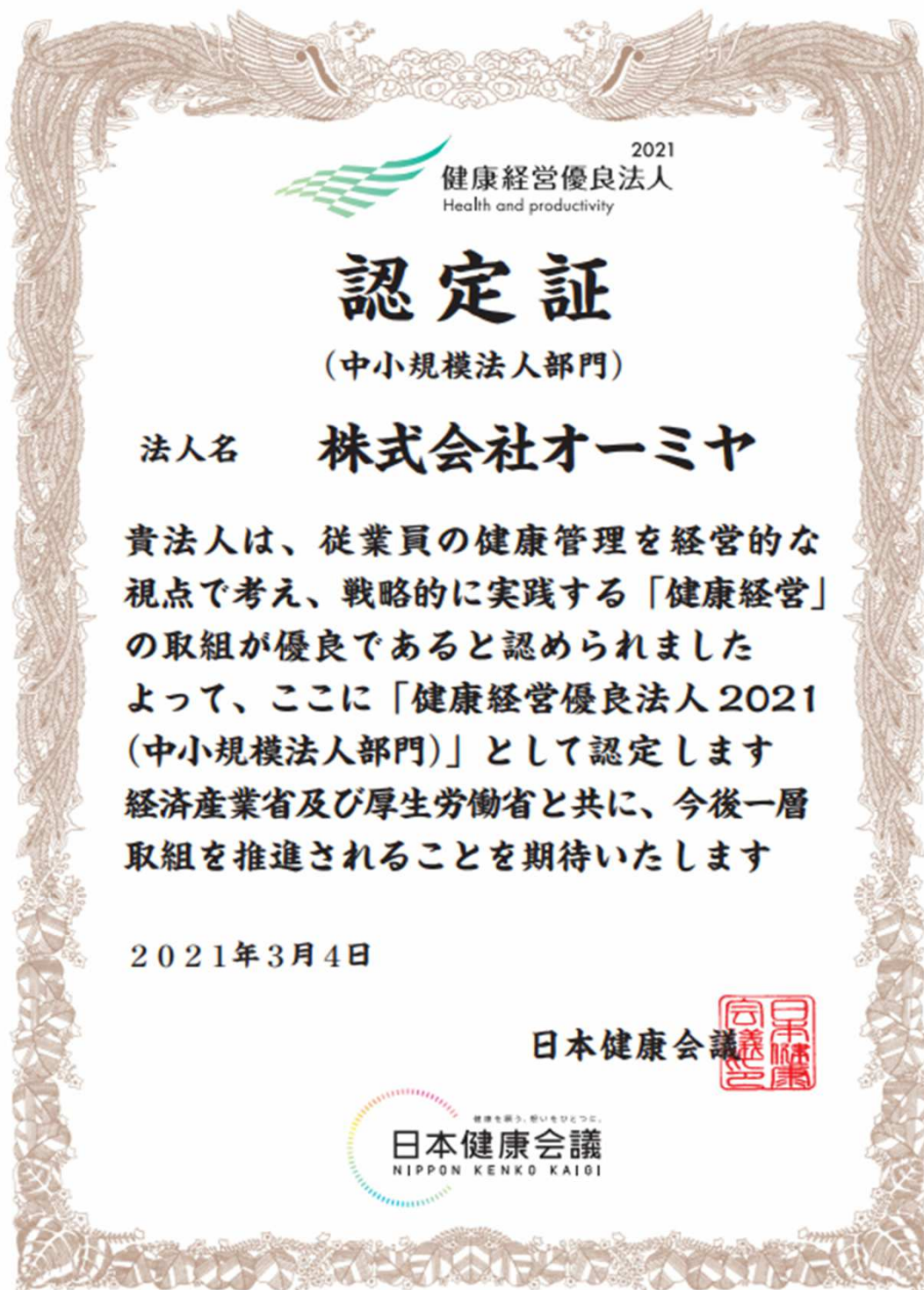
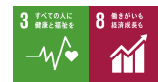
毎年実施している健康診断結果を基にお招きした講師に生活習慣病予防と称して血糖値や血圧などを放置した場合のリスクを学びました。



東大阪保健所の健康作り課に出張していただき、メタボリックシンドローム・腰痛・肩凝り・食生活などを指導していただきました。
腰痛・肩凝り予防ストレッチも指導いただきました。

7.健康経営優良法人2021認定

◆当社の健康経営が優良認定されました



21112141

8.環境関連法規の順守状況

◆法的義務を受ける主な環境関連法規

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
産業物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
騒音規制法	コンプレッサー
振動規制法	NC旋盤、コンプレッサー
水質汚濁法	機械油の保管
下水道法	使用書
消防法「危険物」	危険物の保管（届け出基準以下）
フロン排出抑制法	空調機
顧客要求事項	品質管理

◆違反、訴訟等

- ❖環境関連法規性等の順守状況評価の結果、環境関連法規は遵守されていました。
- ❖関係各所からの指摘も無く、訴訟もありませんでした。
- ❖外部や地域からの環境上の苦情・要請等はありませんでした。

株式会社 オーミヤ
環境管理責任者 出貝圭美

9.経営者による環境活動に対する評価と見直し

振り返りと次年度に向けて



64期は新型コロナウイルスの流行による対策に多くの時間を割くことになりました。

その中で、7-9月の第2Qでは得意先からの受注量減少にともない、環境活動の推進や、従業員が健康に働けるための健康経営プログラムの取組みなど、通常時にはできない多くの取組ができました。また5月には2F工場内に最新の省エネ水準を満たす空調を導入。Co2排出という環境に配慮しながらも、近年高温化している夏の作業スペースの快適性を向上させることができました。

課題として、テレワーク推進時の足枷ともなる、社内および社外とのやり取りで紙でのやり取りが多いことがあげられます。FAXからe-mailへの切り替え遅れ。申請書の電子化の遅れなど、次期には紙使用量25%削減の目標を立て、電子化を進める取組が必要だと考えています。

また当期はSDGsとの連携ができていなかったため、次期はSDGsと連動した環境方針を立て、社内・社外への発信が必要と考えています。

株式会社 オーミヤ
代表取締役 道野弘樹